

日本共産党

あきば 繁の 市議会報告

2015年2月
NO. 17
発行者
古河市議会議員
あきば 繁
茶屋新田71-4
Tel. (48) 2139
あきば繁の
ホームページ
http://
akiba.iza.yoi.net



日頃のご支援ありがとうございました。昨年の総選挙では、八議席から二一議席へ大きく躍進をさせていただきました。参議院につづいて衆議院でも議案提案権を持つことができました。この議案提案権を使い「政党助成金廃止」法案を提出します。今年、いっせいで地方選挙の年です。ひきつづき市民目線で市政を監視し、いのち・くらし優先の市政と平和憲法を守る政治の実現へがんばります。

市議会議員

あきば 繁

平成26年 第4回定例会

平成26年度第4回定例会は、11月27日～12月9日までの日程で開かれました。はじめに、人権擁護委員の推薦と交通事故等の和解及び損害賠償3件が報告されました。

議案は、教育委員1名任命、固定資産税評価委員6名の選任が提案され承認されました。つづいて、百条委員会の運営に掛かる一般会計補正予算が審議され、初日に可決されました。他31議案は、主に補正予算に伴うものであり、各常任委員会付託となりましたが、それぞれ審議され全会一致で可決されました。

陳情「農協改革」継続 一般質問14名が行う

新たな陳情の3件は、2件が議員配布のみ。「農業委員会・農協改革等...」「商業施設等の優先駐車場の目的外使用...」の2件が継続審査となり、一般質問

は14名が行いました。古河市の「議会改革」今期成立に向けてまた、「古河市議会基本条例」と「古河市議会議員政治倫理条例」は、平成25年9月から審査が続けられ、今期(3月まで)の成立に向けて検討・議論が進められています。



針谷力議員の 保険契約及び 寄付行為の調査

1月19日、古河市、及び関連団体と針谷力市議が、経営する保険代理店との取引などを調べる古河市議会が初めての「調査特別委員会」が開催され、証人尋問が始まりました。

直井一夫氏病氣 理由に出席を拒否

予定された4人の証人のうち元市体協の事務局長だった直井一夫氏は、病氣入院を理由に調査特別委員会の出席を拒否しています。

会員名簿を使用 組織ぐるみ選挙

元市体協職員の戸塚友行

氏への尋問で、先の市長選挙で、体協事務所と会員名簿を使い37団体、約7千名に「スポーツ振興有志の会」代表 鈴木富士郎(元市職員)へ加入し依頼の印刷物の送付が明らかになりました。

「アライブ」、古河市、及び関連団体と 保険契約数、最多の46件(4割)

左記の表で明らかになように、針谷力議員の経営する(有)アライブが、古河市、及び市関連の体育協会、観光協会、地域振興公社等との契約は、5年間(平成20～24年)で、他保険会社の倍以上の46件(284万円、総件数の4割を超えていることが明らかになりました。

「理事がその属する団体(体協)との契約」の場合の手続き、また、利益相反にあたらぬか。針谷議員 手続き、利益相反にあたるかは判例上、学説等も問題ないと認識している。

あきば議員 尋問2市の調査で平成22年～24年で15件、平成20年からの5年間では46件と最多、理事になってから増えたという認識はないか。

針谷議員 件数、増えてない。古河市、及び関連団体からオフアールがあれば応じた。地方自治法92条の2項の兼業の禁止事項はある。が、市等との契約額は年100万円に満たない、自社は年間億単位であり、問題ないと認識している。

主要代理店(平成20年～平成24年)千円切捨

会社名	件数	契約額
有)アライブ	46	284万円
高橋保険	23	283万円
並木保険	20	92万円
ウツギ保険	8	131万円
カインズ保険	7	59万円
ヤマザキ保険	4	23万円
ジャパンソーゴー	2	2万円
柳 保険	1	8万円
山下保険	1	3万円
パートナーズ	2	7万円

倉持委員長の説明、証人の宣誓の後、直井氏を除く3人の尋問に入りました。あきば議員 尋問1社団法人法84条の、

提灯竿もみ祭りに酒の差し入れ 認識甘く、猛省をしています

落合議員

尋問1 酒は、誰が指図し、誰が購入し、誰が持って行って、誰が渡したのか。また、新聞に「商工会OB」の名で送るつもりだったが、ミスで、個人名が出てしまった。」とある。ところが、議長に出した抗議書—文書では「事実をそもそも認識していなかった。」と、否定しているが、どちらが本当か。

翌年議長、副議長から見せられ確認した。同期生の働きかけで酒の差し入れに同意

商工会同期生から、酒の差し入れの働きかけがあり、会費相当分という認識で、いいよと言った。お酒2本、1本1650円×2本、消費税5%で3465円を差し入れたそうです。

寄付行為に対する認識の甘さ認める

寄付行為というのは、



何でもだめだそうですね、自分の認識が甘く、今回ご指摘をいただいたので、お金は出せませんと言いつ二人に迷惑をかけました。落合議員 4月に選挙もあり、議

会、何をやっているのか。酒、配っていいのかと耳の痛いことも言われます。ご意見を聞かせてください。

針谷議員

会費相当分とはいえ、自分自身が了解したということ自体、猛省しています。

生沼議員

9月17日の新聞記事に間違いはないか。

針谷議員

間違いありません。祭りを盛り上げるため、出すと言いました。

「まちの声」 保険は、取り過ぎ。酒は、論外だ。5期の議員が知らないはずはないよ。

健康福祉部長

学習支援事業では、生活困窮家庭の子どもが対象であり、教育委員会等も含めた体制で、貧困の連鎖を防ぐ手立てを考えていきたい。

教育部長

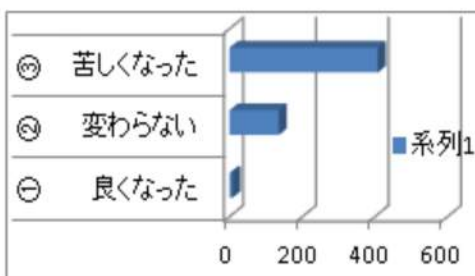
就学援助費は、文部科学省から示された単価により行っている。今後も国の基準に基づいて実施する。

教育長

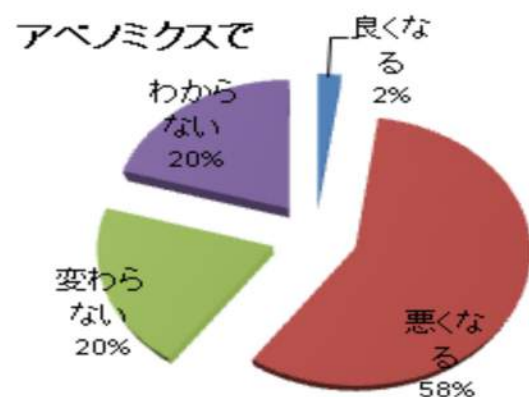
教育の場においてはすべてが平等であるべき、これは理想ですが、塾に通えない子どもたちのために古河塾をはじめ、福祉課とも連携を取って進めていきたい。

くらしのアンケート

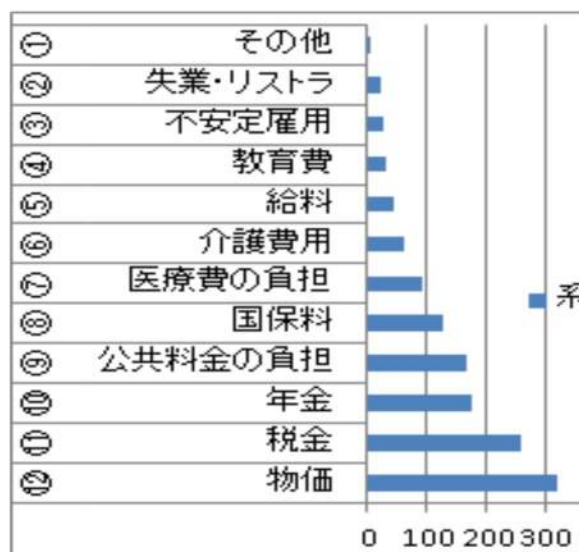
設問 1 今のくらしについて



設問 2 国政について



1で苦しくなった原因は



詳細は、別紙でお知らせします。

2014年「くらしのアンケート」に「協力ありがとうございました。」

昨年の9月末から旧古河を中心に、約1万2千枚のアンケート用紙をお配りしました。10月〜12月まで550通を超える返信封筒が寄せられました。いただいた封書の中には、みなさんのくらしの実態、国や市政に対する思いや怒り、苦しい生活の実態と切実な要求がいっぱいあります。お寄せいただいたご意見、ご要望の解決へみなさんと一緒に取り組みます。ご協力をよろしく、お願いいたします。